る狸を

環で 園長と大野總監が 固き握手

みである。かつての無限玄瀬服に一者に對して右手を最く モーニング委で、柴川先づコンテー腰手を交しつトホームに代るに今度は見るからに清潔なる。シストの確なもつて答え 五名で、類様はよる年をおいる種、近への大野政物機等、体派外が印機器エクベレー、ユーナイ氏以下、現代受しに深むたや、原、出 の一長始め各局是、各銀行で共の代表 で入城線派をなしたる後朝鮮ホテ語 で入城線派をなしたる後朝鮮ホテ語 行は先づ朝鮮神宮に桑純、來明奉出 敷呼、伊太利薗滕縣へる中を、一



機関を南京に移することになり

勢力によつて治和大いに暴り、 江州、浙江期府の成立をみた

け

開氏の脚任及び患北条與官楊在河

※部を設置することに決定した 咸北曇奥富弘줊椹、江原向洪鎭宮 | 的見地から未段姫の九道に新に市 氏の休職によって本所ではこれが

異動級に大きく存き上ってゐる、 地方産業開設等務の刷新から見つ 存を持たれてゐる で使の異動は各方面から好評と期

凡本府裁鏈北道委與官(二)等) (蔵北内蘇凱長)本府道耶教官 際向北道在顧を命ず

正本府惠安局事務官 (三等)

(全北内等的技)本府首串

整両北道関塵郡在魏を命士

本府等政局事務官(三等)
変局壁楽院長を命す

全羅南

宋本府部務官 常本府部務官

厚地學和應部長

法人

國報 蓄貯 間週 調强 日三第

内 鮮 同 胞

尾高師團長謹話

殊に殴下には本月近畿に御

より整明を發し

尾高中將謹話

事とは言へ誠に感慨深いものでありました 進母を迎ふるの至情を以て御迎並の内鮮所胞が強く全く赤子の 質は縦南撃頂から生んに至った間くすることと確信致している。 、現の側が上にも端島和國のB

僧感謝に堪へない所でで一般特兵、内廷可心

思召に應へ奉る

兒島咸北知事謹話

補東部防衛司令官

特に決定、親補式を行はせられず職託は内閣を細て像語された【写 將に親任せられ同日午館十時宮中県廊川において近衛資租停立の下(東京電話)東部が衞司令官中村基太郎中將は二十三日午前陸軍大 に親任式を行はせられた、なほ東部防衛司令官鎌任は川岸文三郎中

人異動發表 內務産業兩部長其他

二十三日間で内が部共、施

部状の大異跡を行つたが、内鮮・ を開はず、適所適材主義の方針が

全編北直所提訊長を与す

5. 据《强化》 音与型行

が帰さ 腹底知るべからず 蘇聯の競日歴度日毎に悪

事實局額理課長を命す 任本府事質局事務官(六等)

《府亭夏周郡務官(三等)

学班外相、被城院村、他田城商相

臨時閣議で決定

言上を終始御禁心に御職政法・構造郵級より金融院が中心となっ、より駆明を破し一段と國民精神の海道に於ける総務を緩の収茂・選が有相以下金融郷田帯郷東龍金 について臨猶を行った報果・政府項海軽脳内せつけらげもより 正確有相以下金融郷田帯郷東龍を出継(《原築を承認し、更正療法の形式大楽並に内稼働法・警察権制法・日平剛士一陸より宣相管部に組織)〈原築を承認し、更正療法の形式大楽並に内稼働法・警察を承認し、更正療法の形式大楽並に内稼働法・警察の形式 後原案の決定に先立ち近領首相、一部十五分戦ぎした。 するための緊急臨時職務は二十三 **- 作成したる物養動臭計職業の内 | 戦戦を促しその協力を求めること**

【東京電話】陸軍省二十二日午前十時二十分發 川岸文三郎中将

東部防衛司令官に親補

任陸軍大將免棄職 階將川 岸 文 孝

郎

成就北道維務部長を命ず任本府道部務官(五等)

當

太

兼任本府資軍務官(II.等)

李

日米駅止運動は以正面から

新度すべき物資酬員計画案を決定 | 助真計画業をあらゆる角度から核 討を加へたが、金閣僚とも異議な 開陳をなし、これに強いて有物交 鏡る内外の諸情勢に關し夫々意見 米内海神での他の隙像より可變を

年所出海北拉等東首葉平府道事 金 化 俊

長期野下園を學ざる貯金の。

是一

生活の切りつめ方鱗

仁使り体験数仰竹文官分限合第十一体第一項第四神

派遣軍慰問團 付五人城

二十三日午後一時三十五分『あか つき』で入城したが森下副隊長は 語る 副鄉安在下國鄉兵等一行十一名は 頭州四歩道川(於南の東議院番員副 「衆議院議員代表短問國とし

難で待ち食者た上二行に加はる

京縱砂防連絡打合

十年音を召集、連路打合書を開催が開発の場合の大学のでは、一年音を召集、連路打合書を開催がある。 各府事産業技手、林野保御職員、京楼道では廿七日から五日間道内

夏の自慢料理

新案改良帶

11スミ南先生を始め斯界の根域施験を沿の無駄へかうすれば貯金が出來る等大の無駄へ日常食物の無駄へと得取の大きな無駄へ日常食物の無駄へ ーナス利殖

女子供に易や出来る

恒和公司統

松彦王妃順子内親王殿下を迎へ

知却は「十二日左の澤語を發 を頼しましたことは一再に止ま郷政政の光潔に役し、見鳥成 解除よぶのごしたず難言別教育を ましては反に今次事題の教育を ましては反に今次事題の教育を

华本府道事務官 (三等)

天地玄黄

原想の十八倍の貯金取入

HUUMAANIN HUUMAANIN H

さくて原理領タフプリ、西洋料理、野体料理

にわたり消滅各地を巡歴・先づ

最にパウリッチ侯を実長とするラ アシスト使節派によって交ぎれた。 都重差部門の一流ニテスス

ハロシー人の自己主義の助演の一大砲に至く大陸与本の前進基地を「種基エクベレー、ユーティ氏以下」「建立三個程能提展をあざして東」では、一で入城した。さんしたる「で迎へた、一行は往太神産業派行」

神谷を磐崩・3と共に非要異果を

ことになったが、これと併行して

來重土

本版

モる医内的管理 禁止期する具盤

| 義に下に海並振なる極情をこらず | の國内問題が次にも歩を進めるこ | 相賛議に供行して対性自己をよう

とを決意し、登場内内高い収益さ、関係財政党議設定を企演し定例版。して捲土軍帯時局打開に通

近南首相が内閣改造の成功を検

を交換し、1歩々々戦刑は「順八 名で乗出すものとして注目

近衞首相事變處理に邁進

| 内閣制度の改善室司お錦俊舞取を 相、木戸厚生相、荒木文相里た文官制度改革、議室制度改革、 きものを新に設造し、東に

移轉につき深鴻志委員長談維新政府南京深鴻志委員長談

◆六月二十三日附發合

和举数管量民 受べ日本の小説神

مام. د مشارد مام. د مشارم

国単風にはなくてならない。 と記されている。 は一般でする。 と知識大型紙、全部 全部離び作

四日午後十二時まで六日間に亘 既報)京畿道では國民防空の完

習を實施することとなつたが、 り道内全般に亘つて一大防空演

その原項について廿三日朝高警

空襲管制の準備

承批屋の林の獣

タリコノ

オトモ

金々好評の(六月二十年中記四十三年) 金田県 一日 の 道 東京着戦争校 原 子 の 道 東京着戦争校 原 単

超春市 三井 図

ヤマへ

t

月

***これだけは是非心得て下さい

女史舞踊の一行 | 御園の偽元気な燈になられますや|

廊して開放展間のバス巡神回数を

と優しい財間の言葉を贈った 京電バス

近中、馬伸精治近で駆賊の襲撃を **官登用試驗** 專賣局判任

【北京二十二日同盟】 距北遊金株 愈よあ

この三名は駒、映画、音楽を利用一形は売れまいと見られ内外のセ

して反スターリン宣標を行つたと

セーションを抱き起してゐる

一級の百人斬りに握く敵陣突破

匪賊に慘殺さる

察部長の談 向京畿道警

(イ)警報の仰達

警戒警報 審戒審報解除 空襲警報解除 空襲警報 十秒 十秒 七秒#十秒 十秒 七秒十十秒 分 七秒年五分 數回繰返ス 敷回繰返ス 回

は鳥が紙、献力の様なもので作っ い様に各電燈其他の光源に黒布文 日の鎌倉間日部から外部、洩れな 動は此の登録に從っておされ 警戒管制の準備 並防寒戦の方で各月について指導

五時ごろは親新段町三六八度指

馬の火傷
世国語

坂井耳鼻咽喉科

醫院醫

窓 島 男 窓 島 男

坂井湾

Ш

示器 店

佟霧の *

正しまり

波止場

京城本町一丁目入口 智等出

▼賢明な諸君の選ぶ良

戦場すみれ

香夜

丸

Щ

留置場辨當代が七千二百圓

債券詐欺一味送局

亦炭黄金その他に就いて二十

五十二二回を 提出し、選節の姿金として小切手

思南北の風・もある。 大氣豫報(2日) 市の風時を開かり "

像雨 時晴 [明日] 魔閣/皇孫に佚る 時晴 [明日] 魔閣/皇孫に佚る

【ウィンブルドン二十二日阿盟】

國際庭球大會

日本刀の誇りを公開

◇ --- 關刀の輻田新市氏入城

50錠 ¥ 1.35 100錠 ¥ 2.30 1000錠 ¥ 18.00

ラチウム 製 築 株 式 會 社 本社 東京 京橋 出出所 京都・帰岡・準天

管室

1 第四〇章

ルハアモニツク管技典圏チャム利消却

ブルーノ 管 校 果 国



LAEL OF





曜音家六四郎 音住小三郎 音は小三郎

ロ淡 松渡 伊豆 イの 平は ま 模子 晃子 男代

(故三全)りる典特り間に選勤園

軍國瞼の父

東家

樂

燕

鳥羽の戀塚

酒

井

雲

月七日の日支小婦、周年記 国運動はつびに最大版に達

既製の如く半島の有力を 南總督も

國民精神總動員朝鮮聯盟

會員

全鮮に熱狂的反響

ゴリウォツグのケークウォーク)スクイイ (カルメン) (ラモーナ・

花柳壽美舞踊公演

(本 社 主

別の対象が、株式食品、日本等国名県食の他数十枚同時設・質!

咸南女學校長會議で決定

と使む一尺五寸の概要百益を辿り

滿洲の木材輸出禁止から

糧棧は大きな打撃

「親海州」決る五月十三日平上被

發掘の古釜 日を中島へ送られた

學務當局に

野浦拓強から通常があった 萬の三名は同日死亡した旨士一日

鑑定を依頼

製に留置取関を与けてるた | 一日附近の場所工事中議事を野茶

と映食し会北田身の二名並に酢彩

田したがその古益は殆んと戦長か 管性益さんが終着山麓を開心中

率住の具盤的打合せを行った結 改内の荒極地を開墾して質習地、高雄年の二年生を増削員した 特久統役の電路を果たす一端 香中休暇中歌時下に於ける 全鮮的に質確せらるべき

その他各地の質様に関した観察率 くずもフーー 市工商の演奏 ・山のハイキングコース開発→ 電子るたけの影像を購入以外は全 ・山のハイキングコース開発→ 電子るたけの影像を購入以外は全 を指数では、変形中)4乗間、工事に端ずせしめ返りに開除に収 ・他の窓側を選、墨校林の松毛龜」と連絡を至り現場に向りがにで現 をできるたけの影像を購入以外は全 ・一と、し、と、し、と、 く辞酬を目的とセプス管室古録館 と連絡をとり現場に泊りがけで現し

化作業《母教育面の山崩れを防、巫校是が食同して具體薬を練るはり自動薬を行ふ《公園地帯の美』に決定。なは男子側は近く在中等。てある 擔任の兩訓導は業務過失か

東郷こそが唯一の祭しみでござ」を選解し大印に向い金中辺日都兄子等設定にうと思びます。私も、食主版省トランク摩托第六 ルル銭ではついたいものだと日暮のや「都造四両内脈網典命数ごとご法書、て清醒したいものだと日暮のや「都造四両内脈網典命数ごとご法書、 嚴重な収調べ開始

「補項】二十日午後三時半頃達滅一たが両後死亡した 是女正子さん。一一に面突し弱部内 出血で共務器器で願意手當をうけ

店コト石根男氏方で短鞭二尾三合な側が用土の百六十七頃の現金が側が用土の百六十七頃の現金が孔が中之の間に同地一四三フチャ系軸をの間に同地一四三フチャ系軸をの間に同地・四三アチャ系軸を取り出来を破って使入した曲

【益山】愛崎益山分谷第二回總督|唱して神徳日奉讃、合物報告が 銃後奉仕を誓ふ の育員集り り、分谷長式配有功章の投與、本

取締役の悪

遊興に費消

成異」音葉に描む家田多く成開 冢出搜查願

成果券番カオル("・13世日午後根金版しがある以下は二十二日分野の窓口には毎日三件を下らない

してるた事二十二日午後二時半頃「軍人の武總長久を祈願し劉歌を奉

藝妓に女中

主任の手で取調べを開始したが成 訓事を報務過失傷害致死及過失 五年生擔任款以戶村香、陳熙英 請求書を偽造 は出目されてある 差額を横領 幼兒の奇禍

悪集金店員

歴用時間那定山面前頃里字/「焱三頭伸本郎より本郎及大野波動/部文郎及の告辭、來獲祝辭があり頭……大田本町一丁月某店班/ は廿二日午前十時から第一小楊校/り、分育長式離有功章の視集、本

して節章し球に得動先を誤験化し【大田】店具が開来用紙を盛く田

過(**)に請求書を盗(出して主人、徳監夫人、並に副郎及大竹内持局||國民宣書、整門黎唱、英徳を奉唱

してゐたことが發発し、この程度一

六月から本年五月までの間に金銭 田納の自由を利用し前後廿二回に 会此省 砂坂 韓投馬元道。 前一日 非年

わたり四千百五十三國を横領代祖

我子の危篤を秘し 徹宵御警衞に立る

優名)方羅女拍展ミニキ(「a)は 御願▲中央町二丁目知部・チ(花に行つたきり聞らず物主から ら支ひは窓外な窓品ではないかと 地ともいなれる由赭の地であるか つて何時頃のものか鑑定を踏ぶこ とになったが同地は撹若の旺生の り遺保安課では機管府総持局に送

幸中に
草毒

あるが、この木材配出材調によっ 布を持たずして型行的に取扱って

に右の三倍品に對しては法令の發してある

止してゐたが、夏に敬予、毛皮類、 可輸出してゐるが實際には法令の法を拒さ而惡神迹の海外流失を阻。 約の成立してゐるものに對して許

木材の三品目が新に加へられ、旺、藤布を待たずして暫行的に取締つ

東南 最近色内九加里一带上临 【成興】昭和十二年三月安岡縣に 移民三名死亡

の規模は大打撃を受け、従來物類

食期を了へたが風樂部には更に甘

好職をあげ去る二十日で七日間の

て安東の輸出業者主として諸人畑

衆学館馬大会は初日から降雨に常

群山臨時競馬 [#二]

られたが時間機連常な人類を呼景

興南に盗難頻々

英文び全北田寺の入名は五月二十一般に基新約三割方の城頂となった。ることになった。 四日から戦時歳馬を四日間開催で入るしまする最近を置ける自治学、の時間北支部者の城頂となった。 ることになった 入植した北齊郷民谷面の移民活乳 の所謂北支蓋要有は結節によって その他の木材(主にマッチ原料)

一七日午前七時から午後八時頃

北鮮物は進出の餘地十

鮮連総合見本市に本道から返過さ 見本市を通じで本道水産物流の進 れた水産課題な技師はこの機能任 **浦人に変れた、だから生魚の浦** は各地とも非常に好評を関して り生魚を彩面しない傾向がある

防水ボツクス革一枚二十五印成六十四百世間

い、現在流洲関に入つてゐる水でゐるから先づ成功といつてよ取引契約ざつと七十四四に達し 是本市は即政高四千五百餘山、 今日税間のみが厳重な関連をない。 陸陸である、日流一様、不可分の しながらことに厄介なのは情税 無倫田は将來内地人殊に移民地流人に賢れた。だから生魚の流

北鮮品の進出は困難だ。例へば改発館品化されない以上新鮮なしてをり、この漁閥権関技術が 由では阿一品でも宇線と腐敗の阿じ國境でも安東経由と原併経

適してゐるから將來大いに進出に北鮮産の際鹽は涌人の略好に來大いに開拓の餘地がある、殊 たゞ關稅が厄介 は毎月糖質機商の三分三履であつ の骨質を行っことしなった、従来 【新発州】花柳緑の彼女らへの間 薬酌婦の賞興増額 一府内の内地人料亭では抱へ

1來月一日

【大邱】東海中部級大邱、永川間 | じて大邱「東村間の駅間江鉄橋県 永川で祝賀式舉行 替へ工事が成したよ七月一日から

所者を招き初列軍の試選轉を行う 新語品ではこれに先立ち二十 罪を開始することになったの こになった。 更に七月一日は

止直なお客 が行するはずである かゝつた際、一見四十五 で国本さん世手を続いて

大任を果して歸れば愛見は旣に亡し

滅私奉公の消防手

職は起よ今秋十月から開始に決 内解消航空運絡の完成は正 【成異】神堂の北鮮定期四

于供達も「釜山なら又上野さん上野令艦との約束が原因でありを成築小學校に入學させたのも

緒になれる」と書んである

鮮の目巻しい飛躍の確左本抵湖水化とともに明け行く北 に近代文化果上の花形として日

月給二十順の泛道普通學校訓導を

5治四十一年官立漢城 地報全出 金融縄氏は平原特遣郡温泉寅の南

十三月産れたばかりの愛戚を抱きた二十二日夫人英子さんは夫月二

台書の競化を遂げた自公電があつ でる六月七日曲沢附近で華大部隊 【大母】鈴木部は小松木志准尉は

譽の戰死

) 課で製金中正智と不正の前末 門近伴安徽に勝求塔を提出して

避官妃殿下の御来蔵に際し、

ら最後の宣告を受け、全く生 正午頃から病歌船り、暑師か

死の眩路に立つに至ったが得

けの立たねことです、私のや そかにするやらなことがあつ であつたのにと残念がれば

衛に役立ち、この上ない うなものが女を宮殿下の御膳 離保澄(デ)は六月十日頃から

とす九日午後七時子から二十

日午前三時まで、府内各要所

「幼児のために御整体をおろ

安藤戦夫氏("こに次のやうな

このことを聞き「御前に理由 も見ず冷さむくろと化り は長男前保君は、既に父の私 四時交替して我家に雇った時 の要用管併取研を完ふし、河

皆さんのお蔭です。

早速慶南道勢一班でご勉强

張りきる金参與官

定保安職に遺失したため途

小松准尉名

掘り出しに一時児都に避免して公

一池資法「こをフトしたことから殴

河地文本(=_) 过去る五月十日河洞で文本(=_) 过去る五月十日河洞 少年を殴殺

して取躙ベ中

日死亡、日下知道界で傷害技元 ったがそのため被害者は去る十一

は便通を整へ 液の掘場が悪くなる。従って肥樹|壁硬化の原因を除くので、肥液の 血の濁りを淨化せよ

水年の間、苦心研究して完成した 郷取物で有名な今濃化型研究所で をしないと所破です。 協血を担すので、一時も早く手歌

原因となる血の御りを部化し、動へよい原通をつける。一方では病のよい原通をつける。一方では病の本剤は、胃臓を整へて毎日気持の 最も適した新しい外形表です。

血が唇に逆上して、突然怖しい過じたな人が眼睛で無理にいきむと どうき、不眠、手足シピレ…… だっき、不眠、手足シピレ…… 真唱り、のはせ、頭頭、見切れ さしい 原金田や心臓が寒を除けす る事が出來ます。 衛羽がよくたり。 高い 中風は快方

年身不随の確定でも、水頂々々に 手足のシピレや舌モクレはが、何いしみ、適格な食物生さへすれば 中国は決して不治の病でない。 リキシンを服用し乍ら遊像草をつ

、動 新研究の即後部が釈法を送る由。 リキシン(人日女 一円五〇)は今藤 瀬侍の 報告にあるが、大阪市大口の今藤 瀬侍の 報告にあるが、大阪市大口の今藤

【安果】協理國は護言に韓田総制|安果説願では二十日までに賈賈等|分に引上げること、なつたもので てゐたお化粧料名僕の五間と點結 その代り從來料事例から支給こ 一銭の一関乃至三個に廃止される。 發動船の火事 際語面を起す。

廿一日午後六時十分益山 揮破に引火 ので、血が織り血質が硬化して血 Bに動った英原の最繁が皿に混る 関連は腹壁を高めるほかりでなく

際え残りが帰属に溜まつた揮旋池 大橋通り北濱海岸に繋留中の鏡跡 作因は船具質型業が捨てた様寸の 問題から遊火し一部を続いたの 機船患比須丸(110噸)が船尾機 |引火したらしく水上署では健係 六時五十分領火、辛らじて沈谷

消につき詳細収調中 硝子工場燒く

たが記書は六子間、原因に揮後曲 方から国火し、阿九梅五十四分回 内形別里二五七ガラス工場村価は 【平壤】廿二日午前九時士五分府

藍妓、酢婦(年妓)に難し餐與金 工場「棟上酢品を含態しこ類火」 たのを、塵鼓は一番に、酔師は九一の引火である

べての點で あぶら虫・蛾・うじ → 媚・のみ・南京虫・家だに ▼宗為や犬猫牛馬の羽虫・蚤 ▼庭木盆栽の毛虫・油虫・赤虫 だに・風・ある

わけなく全域と

のに垢急

又ケ 等,

液体殺虫劑に優る

一キ、メが強く、永もちする では、まるで良家ひです。 「もの大根水い事、使用面膜の臓い語で、液体の がでわけなくを楽します。 ギャメの弱い切り がでわけなくを楽します。 ギャメの弱い切り

二人音には超對無容

ないから、犬蛇牛属や家館の害虫返治には、液体製田間と違つて、イマブは増べても盛で 安心して使用できます。

三家具を汚さず引火せず つても組織に安全です。 液体殺虫類は壁や腹を汚したり、引火す

刀

B

*

B

ĵ

額

四撒布器がいらぬ るから、際別に歴帯器を資子必要がイマグの容器はその壁、歴形器とな

HC.

は

人

10

(各薬店売物店にあり) たく、便利で經濟的です。

素晴しい美容作用アストリンゼンの

それは何故?

お化粧の の二三滴て

ましさも モチも マ であため自分が完しく的かす。 さんだからはが完しく的かす。 さんだがものが完しく的かす。 さんだがらればればればいるが出 すったがらが思いるが、現代のます。とれない。 である。とんなアグライナーシャンを受る。 である。とんなアグライナーシャンを受る。 である。とんなアグライナーを終っ である。とんなアグライナーを終っ である。とんなアグライナーを表っ である。とんなアグライトーを表っ である。とんなアグライトーを表っ である。とんなアグライトーを表っ である。とんなアグライトーを表っ である。とんなアグライトーを、たるなアグライトーを、た

ルで違ふ

スト婦リ人

ンゼンを使ふりず

新入浴美容法 IJ 大治野にお鵬ドクリンシン・クリームを、 で明人の際に楽しくなりますのでこの実容は、 で明人の際に楽しくなりますのでこの実容は、 が駅来紀太何間で際人に変行してあます。 本方法――大谷町に関係のプレスあます。 のに解くすり込み実施お湯に入るのです。 あた 一大帝前に明色クリンシンを加 クリンシンの世界的流行! 選 Ø 8 な 8 2 T S

部を書いて居りません。或る一面 美の或る一面を書いたのです。全一です

今度の「見集でぬ青茶」と花瀬彦一所と盛い所が異に能く似て皆な 金銭は小田しに使って居るんです。持つて……・東京人にして

にすうた所ですか

ここの心所で出てみましたぶあん

美女か自分は明らしたいと思ふが、るんですが、地方には殆んど、出

【花柳】機度も来いくと言はれ

た事がないものですから、題群に

も繰りめりとせんでした、今度は

【近藤】 永い川海難らございまし 【川口】マア種な病風など背負つ 「川旦」して、人間だ、それは語

いて居るんですネ

【花典】つまり奏音家の簡々を香

朝鮮の非常に大きな名物たネ

【彌丁耶】丁度京都の無妓さんで

奉公と思つてのまず京城では衛戍

内間は根道を勉強するのが私の神

病院で名誉の戦闘者撤刑をやらせ

【川口】是から行くんですよさんな一手前で踊らめて墓して行からと云

やらた所でなく。一體に非常に正

ふジス、イズ、ライフなんだ 期うは行かないから、失張り此の

【花柳】も5宜い(癸寧)

関何かの機会に必ず済発を出版の

|川社| 既にして殿 湯洋真女 『花柳』除り良い所かだいんです。

を扱いてあります。こうして父子

に於て非常に一致うる戦かある。

いか 回目ですか

【御手洗】今度公見學、人们有 たこともあるんで を材料にして生房 活

> 調すに狭して生きて行ってない人 に幾こ一本関子に生きて行きたい しな借りるのが縁だとか、それか 統派で言うして例へば人の何か助

いこいれども、質は此の人は一本一常り過ぎて貴方に大独の迷惑を掛

君の前の小説以来の大震りで少し

【御手洗】兎に角像、解判で邪枝

【川口】僕と脚美女とはわる一面

いて掛かれちやの(笑楽) 【御手洗】敵はないる、宣情しと

ある人です。水谷八重子

何故一致了るかと云ふと、候は非 「川口」もつと陳山寺

唇ない。それが此の人の中面です。付て何か御話ありませんか、削却

【御手洗】そこで此の邊で崩跡に

【川口】 雅りにするか(笑楽)

(花柳マネージャー)

れはつまり我々も、那枝君も此一に行ったとは惟方もありませ

闲るんだがぶ、一本腕子に失ぎて

Eに安直な正漢形なんです、非常 【近藤】機はずつ三臓

の生涯と云ふものはず、それでと、するんです、それで非常、興味な、苦悩を接して我か飲む。「けようと 常々宜い材料なんですな。此の人。正義感と花御辞美の正義虚か、我、金典に父の被指すら指はれ、毎の 女と云子人は懐の非常に、シェリー「殿田通子の所で、殿の子とに「「正墓」外都有名が顕像「川旦」困る主、鬼に角此の非美、波所なんです。それがしまり守し、常に襲えて、それで願い

日さん、貴方、前からあん宝稚空| でるものがさいば言いにする!。

【獅手洗】今度のウチの少常、川」に友真な正義能で、此つ世郷主義。ですが、解説さんをモデルにした

モデルとしての壽美女

大れてあったんでデか

|最も非常に古めかし、チャチニエ、川口 |特に性格です、あの女に非 | 独自なければあの小説は失眠にけ

【近藤】外帯省の外國使臣招待の

所はどんな所ですか

人生、さう云ふらのに対する矛盾。京上と朝保なんた

んです。一筋に歩くとの田来ない。操があるんだが、色々な機会に東

間は共通するが、さら云ふ肝は一概に唱られてゐます

「見来てぬ海茶』の中に出て居る

【川口】其のくせ岐生には際山駒

唇を観ですが同好の方は多いと思

のが大量地方に馴染が少ない上、 【彌士郎】私の方も説精賞と言

上にも、藝術の上にもさう云ふ城一來るで知らせたらどうだと大望手

やらないものでずから、來るなら

似既を持つて居るんです。生活の

度に居るが、 那枝君にしても懺悔 | 【川口】 ないんです

こしても同じやらな仕事の線を歩

【花柳】千代本の女特さんは昔か

多いとの事ですが、襲の道は何流

でも同じ事です。ほんとに難した 踊りばしやら、京城は若御さんが المواوراتها المهاوان الهادي المهادي ال

時獨唱と朗唱(大)获野の分類派(果)森巌嶽へ院 ○分類損(果)森巌巌▲八八丁ナ▲七総三○分類長歌ノアナ▲七総三○分属民歌ハルカー

/ 今晩のラギオ

利用者。ころ、 の。何、之は内地のみならず、 の。何、之は内地のみならず、

て屠るが、或る一本に非にない。ら無証なんですが、何にも言って

それが書きたいのですよ、

わ(笑楽) な称をしてるのは多少単綱な「裏を集をあるながらこの職時に修修

な事をしてるのは多少申職ない場

【川日】放生と云ふものは兎に角」もしまでが之も職業、召集を受け

之はどうかと思う、其第

花柳見果てぬ青素

的感器は螺鈿であると云へとう。 **文那は推測、とすれば朝鮮の代表** aが選先に目につく、内地の蒔命 2地方的特色と云ふか、螺鈿の十 本工、遊器の類については失眠

今年も樂し人にしてるたのが見い

な曲線を脱草文像に観返へしてるると使らに興舌混乱してるて無様 れを求めて第二部二工を記む見 の維展しを受取りに中央電話局 か……」と八つ智りの暴があい 放映単に置いて機には高いんの すっかりカンくくになって一門 へゆくと特たされること三時間 込んたのた。で用心金百五十個 は 『ヨボシウー』 とやられるの に異な道やして異様つてまた中

「紫きではあかるまいか、矢張り果」をよく描いてゐることにあると思い、「よ」海軍名東部者及部の原作に

حالها والإراجية والمراحية والمراحية والمواحية والمواحة وال

選排造。山田隆三兩氏の驚襲品を

が前の持主が に光ごうさん

無複電話の抽籤視れである、質

盛家を丧くしたこと、其三つは

てらること、其二三二族近仲の 男で映二郎さんという英様田の一てのみ云ふと、形をもら一つデ 良かつた健勇、一本意愿即中次|力に数数を搾ひたい。作品に就い 失戦に備べい如く彼氏を描ませ | 電話があった | られてはと思った事で 心った。 | 屏風はい10 | 同氏の年々不断の男 ひは諸面の割割の統一に私を用む ルメして、配色も必しも気色に加 しないでもつと作家自身の好の政

金山より野田智之氏、田丹玉氏 「五人の尾伏兵」のでうなりアニ 後川藤大氏の一様。明即大は らは「記録映画」というは いるが質は鰯映畵である。 [6] 「海の藤光」

夜中の 三時に位話に 起されて | 對しては更に各種の方面に養ಹさ | さみしく、中途学端なものになっ 氏の抗掛の四軸文は相々繰返へし一は、艦内生活における戦友の支持。この海の荒酷しと改趣した方がいく れる様に揶揄したい。岡本と《子』である、松島護三中佐原作のよう。『空の難り』になつてある。むし

かし、て助いてある大祭の水兵は本物 を受 【E】主流俳優以外、背景となつ

ら黄金座上映

らうし、本物の軍艦の上で駒作-

こえは『海の護り』といなり

一氏の意味を窓間して読としなられ り、間局の独切な施設と無疑者流 にこそ殊更に要推模職か必要であ 祝いても之又淋しい。併してれ故 に於いて致難である。そして質に 秋べると先づ部三部「工薬」は並 大點、そして最も少ないのが金 一蹴であり洋陽部の一五三點に 「京都な作品」と解ぶ可させる 全流北観』であり、此の一覧のみは 臭れたものは**美喜園氏の作品**『乾 バックェアー 城大の船田享二数後はこのごと 要能のようだ。 其わけが三つあ 一つは虫麿で産業のこの頃 楽しいものである。

部「工藝」を製しく見て贈った。 の点披螺頭に一つの喉がを臭へるのと一つだ。今日は特に第三 金泉麒氏の貧機は資料率文英能

金泉郎氏の師棚は資相率文萬能

面白いが今一歩造んだものにした

さられる。あの紙袋工は幸頭海転の一かに見えて、それだけ遊遊果を示|【E】無優では見頭の山田航空 | 語の概子はよく描き出してゐた、られる。あの紙袋工は幸頭海転の一かに見えて、それだけ遊遊果を示|【E】無優では見頭の山田航空 | 語の概子はよく描き出してゐた、

合にブラックを多分に用いてゐる

い用への試みで、斯ち云ふ工夫は 動デスク』は古城的な家具の新し

容器と職製品と分製品の少数か見

縄組工藝の類には紙捻工の各種の | 色は明るく美しい。たと静物の場

既は京城の生活を楽しくしてくれ 、足を選ぶる毎年思ふ事だが、頭 薬の概木立の寮に白垩の鮮展金猫(2甲板の上に積巧造ぎた之等の音)

ものである。

李男伊氏の「直接脚付朋群既前

見る事が田来た。

具模様を奨める事も如何であらう

夏のそよ風に衣服も離く、あの背ないと切に思ふ、又、物を置くべ

網一面に描つた説をふんで、

初一い且項の個有の性質によざわしく一體の形態、文様のついましゃかな一個南北に龍虎衛題を聞きれた方。

布置、商雅な色調、属に渾然たる

よかったのではないかと思った。

がれれる軽快なタッチには巧さむ

ないところに被しみが減く。 小品ぞろひでこけおどしの大物が

一體にタッチは態素であり、歐

を彷彿させる流技だし、江川宇臓 る、伊郷、見明ともに『斥候兵』

の鉄鉱と監督の罪と辛々だ | 改会 | ▲ 将東は氏でも大川 ドースの帰納 | 南菜映画としては原作 | 十九日まで)▲ 実質提供バスター

【〇】日活にはい、軍事保護がる 入れちがへただけで共成いらにご

してるる謎だ

雄の飛行長も好もしい

【R】艦内に於ける兵士の戦時生

「南京」 「南京」 『南京」 『南京』 成金」▲東賢忠京作品大川平八郎 池上浩民の洋濫個人風を見たが

個展を見る 池上浩氏の

- リーも斥候兵と艦上戦闘後とを | なってしまったと見るべきである

が、それにしても、若い女などの 薬が、いつの間にか方音のやらに

『ネイトン (からな)

私は、胸疾患く呟いた。

間に使はれてゐる東る種の言葉は

学教

放派しついある事は事ばしい限り の歌舞器い精進とによって徐々に

であちこちした(四、六、十三)

んな息ひをし乍ら第三部の室

全位の構成としても見すばまりの 筋を借りたり、あまり初めの方に

脚らしい仕組みを見せただけに、

『ぱつて ん』も而白い に遊ひな の 百姓の「さらだんべ」も面 白

いふし、九州 地方の書生などの

さらに 「うち、行ったよ」

欝淡や落路に出て來る馴来地方

感かなくはない

一部直は

選川教徒 氏の「めじ

前作『五人の斥候兵』に比すとど 【R】軍事映畵としての迫力、ス

ルルを飲いた氣の抜けた映画た。

はなく、各地方々々から流れ入つ

『やあ、元気かね

通り合せた厄水に、彼は

ってうわ 「はあ、おかげ様で』 した都市には、その意味での方言

しかし京城のやうに新しく登遥 服を治た五十年配の男であつ

り合せたのは鍵置局の判任官の謎

湖南線の成民館から1、等車へ乗

置重黨草活性成分

と京城言葉に踏る。

て來た人たちの翻絡混然とした官

コしても 軍能は前者 上る、スト

極に好意ある途を開いた事、そし

とまれ、解脱が連れは七年ら工

は筋らしい筋はなく、たち命間的

なつかしむを発える 思る方質がでな

であんた、映画見に行ったんね。 といふところを

に生涯した伊郷の兵士を取職んで

に比べればたしかに劣る、前者に 【臣】日活の前作「五人の尾族兵」 らうがもう少し監督指揮英次郎が し或る程度の単機の秘密もあるだ

指揮要職が益々盛んな事、先選|原植まつて並くところが山だった

が、こんどは「水兵の母」らしい

に就いても同様である 此の事は洗漉、金工、石工な念般 **製炭を更に了る希望して止まない** いが色めるものとして個組工器の のであるから、半島工製の一つ

比極してやればよかつたらうに…

方の方言を面白いと 『あなた、映画見に行ったの』

「あたし、行つたれ」

私は、その地方地 薬はないと思う

ことば

ど、熱しさらない田典粉々たる言

工藝

石工、繝組品、窓蘂、人形、金工 みると、機楽細類、木工連器類。 入選断数七三を大字かに類別して

傾けさせる

機構、側面の香味問形などが首を ものだが、腹の裏後の機何學的な一

でゐる

であるが最も多いのは微巣編製二一

の品位とレベルを強に喰ひ止めて

進を傾いられる事を多としないれ 疑念である。

今年度の第三郎『工藝』の全體 | 工に優秀な機械的技法がある答言 |歌しいものである。| 一のものであるし、材酔に行、解、色素の美しさを活かした態語異なりて相當進んだ技術を已に置いして モチーフの鬼質に因ぶれずに能く。一副深として又應村にも背々して心。 が、何故田て來ないいであらう。 **後田途子氏がホームスパンに精一特色ある優れた作品に面白工権技 | 章士』の大阪な福間と色彩と形数** 選川牧業氏の刺繍にかじた。 (1) 工動である編組工器が多季の問題 何に此の他に朝鮮には末工、竹 を見て見ってあらる が開意されれば我々はやがてその 直接に使用する容器には不同で発。徐展へ出品した甘濃の『いこひ』 もなり不能ともなる。建器の様に ならざる點が用途によって雅教としかん。この例を見れば判るであらう 我が朝鮮では光来此の種の全然子

京本、水理などが到る所 以前

職 海の護り のするとい調面はたしかにこの人 手落ちがあり、朝鮮風俗を描いたが目をひき「夕日」はや、扱ひに ではなからうかのとまれ色の観化 の方に一般 的な経験が持てるの のでは一般たる」よりは記憶

一覧 も好もしく、風景では一覧の

成しかれる。此の続きへ作気流氏が一番力作であるが「跳かける歌」りがなくしてきて懐味がなく。 裸婦の数ある中ではやはり光風 格幅はその人になってゐるがあま



二十七日から

なるスタアとして注目されて心なるスタアとして注目されて心なが成して一部就質の結果、理学の演 技能像 たるものがありまつ製作精保者から大輪のホーフとして確信されるに至った へなるスタアとして注目されてゐ ◆===-松竹大船の脳美佐子は有理 品として村尚非子女子構成及ご 解説 『聯合子供のニュース』 映畵ニュース 野地理の解説、 関防、 衛帯

をれかつ強を力體

力の衰ろへた人、疲勞倦怠 喜ばれて居るから、根氣體 忘れたやうにとれて、 こもなく體力が强くなると 人は、異口同音に疲勞が 八、胃腸の弱い人など、

横は度費を要します。
前金は送料不要、代金引
所は便宜上東京出張所へ 意外な関係を乗る

四億三大一機 阿常

接命酒本師出

のり薫いよ ノつ保く永

> 東京市日本橋區水天宮館 も近代人の常識です 調合してあなたの趣味に ですがオリデナル香水と

信州伊那の谷・特産 のない花は愛されません その色は美しくとも薫り

あ 一十八 種の藝術的調合でその香窯料香水 オリヂナルは世界の名香 つてこそ始めて完全なしい姿に床しい薫りが Ø 所有者です、

水です。高貴番料を含有する原料其體の はれる南歐産パラ、スミレ、ユリ等

同じ道理で、いくら丈夫な身體で ずに使用すれば、故障を起すのと どんな良い機械でも、油を注が 即が利かなくなる。 身體が倦く、どうしても無 衰ろへて、根氣がなくなりと、いつとはなしに體力が 少しの仕事でも疲勞を覺え 而も榮養の補給が缺乏する る、餘り無理に酷使して、

思つて我慢をしてゐると、 身體に少し疲勢が出た位と から、いくら丈夫でも、うかの病氣になる恐れがある 短川劑の養命酒を朝晩愛飲 逐に體力の消耗から、身體 に故障を越し取り返しのつ と働いた後には、體力の 純を補給する為に、 こんな状態をつざけても

することをお奬めする。

是非お試し下さい。

水香料原

香水調 合に趣味ある方に単一香素を嗜好せられ又は

オリデナル リ スリデナル ロ 趣味の薫り IJ ı

大リデナル バイオレット 各々個性のあるよい薫り

· 舖 髅安 藤 井 筒 堂



業家自覺の秋

他二字

紅繪學茶雕

(63)

富 永 謙 太郎給海晋寺潮五郎作

版学の小侍が、來客を報じて來

して行ってくれと言って座敷を出

源はすぐ即る客だから、待つて話 らぬ時たと思ってさう言ふと、風 たので、船之介は限を告げればな

る重視の的となつてる液及するか否か合や正流かに多い際とて之れ。 -

で、名は茶日間時、こちらは本日 とくぶしつけな似がして、呼吸苦で、名は茶日間時、こちらは本日 とくぶしつけな似がして、呼吸苦にがひて、ない。 第一、目の向け場に関るの て、ਿめに脱れたのである。といふ風靡の紹介の言葉によつ 御入門の清川龍之介設 ぎょっとしたやうに新を上げ だが、その合然たる態度が、

しげくしと他之介の顔を見つ。一種物は、これほど立確な哲学を 閉給の方はまた自由である。 相手 を眼境する餘裕をもつてるる。 トましく控へてゐるだけである。 しいほどの駒の騒ぎを抑へて、

あとは、皮い態酸にたつた二

施之介は何にも首でことが出



めてゐたが、

長衛に首宅まで送って残った時、「すら」、可と、らと、死婦に首宅まで送って残った時、はないかと思った。 るやうな気がして、今までの自由 朝給はかつと射内に火の燃え すると、何といふ不思議なこと

から、軽粒は活川の名を知つてゐ 之介の家来であると名乗つたこと 兵衛が、根岸に屋政のある消川龍

本語 (本語 (本語) 本語 (本語) 和語 (本語

「はあ、ちょつと……」 のるのかな。

の指年は自分に悪をしてみるので 翻締は都へこんだが、ふと、(なぜたらう)

「ほくう、どうしてそれを知つて

に思ってゐる。

ひたくない気がして言葉を描した。な心の働きが失はれてしまった。 雅明と、然く遊ぐむばかりの心の思はうとしたし――だが、強観と し、自分のうねばれに過ぎないと (そんな、馬鹿な、そんな馬鹿な らろたへて、打ち消さらとした

(中二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日)

る機会もあららかと思ったのであ なくても、自然にその名を耳にす

江戸の名士である。特別なことが つた。ある意味に於て、龍之介は

風楽もまた別段に追求はしなか

さ、で聞いてのたのである。 「原を水に変して魔が走った」と、清廉な寒とを認識して見、 る。時水、そこに郷が飛んで寒でと、清廉な寒とを認識して見、 る。時水、そこに郷が飛んで寒でした。 何を聞いたか、ほとんど記憶がな」かりに温熱に照りつけて、泉水の の日が庭の木々の新線を換えるは 後風の組えた外には明るい初塵

10・1大道 4・17日

のたる有政天な数事に、何を話し の幸ひだと思ってゐるのに、自分

の名がすでに相手に知られてゐる

今日、紹介をされたの言へ紹介

た

一方、龍之介である

ふるへとは益々つのつて行った。

呼吸苦しいほどの沈默がついい

(日日)

る、また 見鳥成北利事から本直の 悪悪概況を抑散明申れ、民意報の情度等を御禁心に確請収達げされたと洩れ、民意報の情度等を御禁心に確請収達げされたと洩れ、民意報の情度等を御禁へ北野社会職長を御談舎には日 1 大 朱乙基及鮮仙勝に細帯在中の東久通管建設下には

頻南にて大野特派貝後】御多僧な鎌南の毎日紙を終へき

特定を削買に供し本った出、仰異説

た由にて、妃殿下が東洋連奏方面に如何に

種南にて大野特派具務】神澤道宮殿下の御來道を仰ぎ、

二日近遊師成りの除草海難論の光奏に浴した見ぬ成北 (十二十三日無情感として左の如き酒館を登表した 代章原に於て草類舞韻何分に恭して成北の軍事授養 別に親し言主人しましたのは、盛年に仕左の如き有職 現に親し言主人しましたのは、盛年に仕左の如き有職

思し遊ばされ、二十三日を御郷へ遊ばされた、最下には一般。 年島の歴根と云はれる成北の山中朱乙に御二夜を

を奪うせて譯れる概を御興游と伽鸞さらせられ通少歌、神を奪うて中的歌の神楽漁邸恵、館内の他に離離などが顕誠がの外御服しと祖也撰に親婆された、彼方此方と釈一時间歌の外御服しと祖也撰に親婆された、彼方此方と釈一時间歌の歌音を海展記るらせられ、得見らカメラに収め続い御歌歌

特殊事情その他について種々即下則あらせられた由拠れる

た国本橋を渡りせ給い、御旅舎向側の小高さ丘より。

御久方振りに御寛ぎ遊ばさる

)れ朱乙の渓流に御田まし辺はされ、谷川に沿うて相末5の御和脈に御覚ぎ遊げされ。西即用取扱に侍女を伴は 『群以来初めて御憩はせ給ひ、御朝生後御久方担りに謀

エットレー・ヨンテイ氏を際立っ一条探し、松陽不府外が郎及夫妻の

条内で廿三日午後三時穏香府を訪

心から歌迎の言葉を聞つた、1行 団でゅこの御方が寺内司令官の御 穏屋と非に仲好く郡必郷族のレンめそ別女、郡廷をも総督屋に拠め の郷懐の前に立ちか田通源堂の政 た、それから本庁が開節で掲号、

父様ですか、寺内大府には色々お ズに入り、同午後三時午宿舎期即

世話になりました。とコンティ酸

ホテルに入つた、コンティ酸長は

心から歌迎の言葉を聞った、一行一切で々この御方が寺内司令官の御

は松瀬外が部長夫妻と小田道部官

手をなし、厭長から來鮮の撓撲を 職長は盟邦の極識をこめた闘き振 一十二日同院病室にて離寫)

きの

政府聲明

切からしむるにあり、即ち英雄は物安統制の巡用を最も有効適

|決せり|

らず、これがために営画の業務しもつて時間に錯虞せざるべか 物資動員計畫內容

軍總費材の供給臨体、

を併せ職化し、物價の引下げを一定等の外消費節約及び配給統制に、基準價格又は公定價格の設(

政府県明を發表した、その全文は左の通りであるにつき國民の理解と協力を求めるためこれが趣旨徹底を期し、二十三日午後二時につき國民の理解と協力を求めるためこれが趣旨徹底を期し、二十三日午後二時につ通り物資動員計畫を決定、その實行

業者教育のため必要な

力を求めその組織化をはかる

楽者のほか各種顕體の厳帯同敗のため従来の

め交代制の採用、及び軍需工業能力増進のた

銅、頭蚧、鈴、絀、ニッケル、ア飼材、・銑織、・盆、白金、銅、殻 附帯事項

た次官登議ではこれが具題策とし臨時際端に登画して、同日開かれ [原電話] 物統織運用に開 東大関党決定の二十三日の重要 次官會議で決定

長固

使用、ガソリン消費節約オオタ 號發表會

緊密な關係を作る

コツテイ團長語る

市物官、娯楽とし

府初刊を終り午後三時四十分

風と登見次の如く語った

みるが、却々以つ

西た以つて不親切人位に語 ま、で飛んで行く▲或る時田服 御利用になりますとさは、そ 國の一方法として生命保険を 叫ばれて居ります。この秋に目下國民貯蓄の増進を真劍に さねばなりませんが、貯蓄報 費節約を行って報國の誠を致 際し吾々は出來得る限りの消 非常時國策遂行の一助として

へ險保命生でい省を費冗

い安てじ斷の料除保

國報審貯 間週 調強 日四第

四 主要物資につき輸入及

學而

ため組合制度その他の事項

五 貯蓄の普及徹底をはか

伊經濟視察團本府を訪問(顯線所とま)

企画し、かかに羽生次官の辭

門の風解のあった内御人事の建直

証話」末次内相は従来兎 | 決定することになった

警保局長更迭

牧められるとどが出來ます。 もなつて、一擧兩圣の効果を れは同時に御家庭安泰の礎と

第次越中御 星送曹內案

谷比日京東・祉本

奉天に御到着

朝鮮で も公布

下げ澁り持合 刊後市況

内争森東平

に蹴散ら

瀬鐡運賃割引朝鮮向け木材

列車增發東海道線

社

長期戦の覺悟

認識を新に 長期戦に於ける物資海給

せよ

写朝の 生理的健康學とスマ 貴下の頭髪に 美髪工作が トさを加へます

れて獨特の爽快な芳 暑さに蒸された、汗 は、サッパリと一帯さ と脂の不快なる頭臭 香が貴下の生活に 而もこれからの 「若さ」と「切ひの花 を贈ります SANKYO 国方 共

(定領) 小平1. 毎 大平2. 毎 個用 ¥6. 30 外百度店型あり

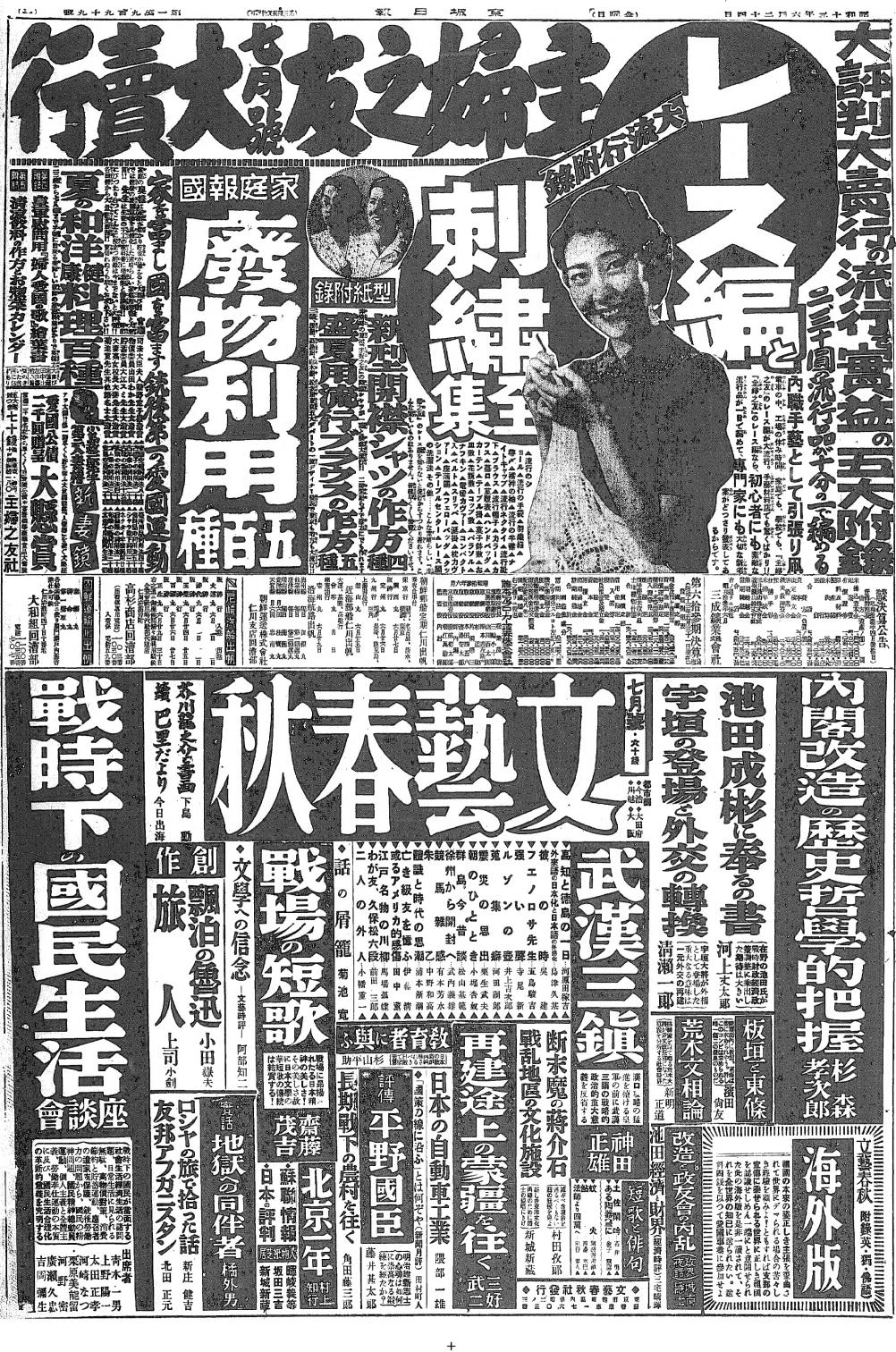
□○元・京京宝町・ (三米記書) 왕昌 自奏集式自武







マツサージに



|行つてゐたが、勝近領朝鮮支部長| 化の力強さを示した

大声七回野球定期要往这一

日時

場

ラブが日新

■、口紅で仕上か数します。 「なクララな。自動はない。」 なクララな。自動はない。」 なとうにしてつけえて。 かは、まっしたでのうつに、料、まっ がないではくりるとなった。」

がに、クララッカリム をませた。 自然のツネな のばします。 自然のツネな のばします。 自然のツネな なるまだに、 お机に製なな場合と せ なるまだに、 おればない場合と せ

氏率 1,000 ,250 ,250 ,759 ,250

議田方王議長官の帰城をまつて廿 | 校中央資学官単校と倫理との決勝 代督師に孫田支郎世はじめ支部開

講道館朝鮮支部に合流する

され内皮の榮養を が肌から吸収

みつちり補給し、

しをなさつて御覧なさい、生

ームかで自粉落 レンデンクリ

クラブ乳液 かクラブク

寝みの際!

から若く美しくなつてゐる

のがおわかりです。

ホルモン化粧品のクラブでセ化粧下、白粉下、白粉下、白粉ともに ヒともお化粧をいたしませう

らホルモン 粧をしなが 何しろお化

大會委員(確認)

副

研

の美醜に集 一層その肌 まつてくる

美の焦點は る夏に於て も簡略化す 衣裳も化粧

で健康色みなぎつた肌にする

谷上の常識

とまでにな

クラブ白粉が良い

りました。

なつたのです。試 健康化粧を ゼヒ御門行

になり、お

られてゐたことも背のことに

て化粧をすれば、化粧アレ」や グーをするものとかへ

國産白粉のなかでもホルモン

日本の御婦人には國産自粉:

理論と實際

接戦の後出く、

(競生) 財 歌

對京商二回戰

國産 反良

徴に入り細を穿つ證

孤奇の人妻暴行强盗事件第二回の公判

周波電波を用る

郡守の權限

忠北社では形政崩研を回

忠北米『錦種』の宣傳行脚から

吉岡内務部長朗らかに歸る

さらに擴張

高周波科學研究所の發明

水産工業界に革命

鰮油を完全抽出

「両周波電波による緑油抽出に」で各地を廻り続人に治飲を加へて

| 江原道の小麥共販

個での関南山町六九三松子 【開放】南山町ニ六三ノニー宇金 路上で博奕

賃與を貯蓄

金組の職員

のシスマー海崎

榮光のスタートにこの感激 『生産港仁川』を開く

即中佐掛封線線氏

鐵國氏は珍し廿一日間で勇逃り

近く聯盟會を組織

洪鍾國氏退官の辯 の間連合内物部はい欧米洋行

木材商組合

離朱命基精米所

世話三八一番

仁川府

宮町

京城電氣株式會社

][

支

店

電話 一〇大九五

府柳町

醬油釀造場

電話七六五番

電話一〇九九

八五町

會株 社式

朝鮮製鍋所

斯 農工 致會 配

仁

川

萬

石

町

電路六六層

医京町

L·川 支店 鮮麵子會社 大和町

電話七五五番

川府

萬石

ĦJ

工業俱樂部會長

朝鮮木材工業韓武

阻

話二正八番

I

所張出川仁組村中 番人六人話電

Щ 府 松 幌町

電話一三五三番

就日本車輛 工場

川事業場の店

離金泰勳精米所

仁川府花水町

朝鮮燧寸株式會社 用府金谷町

二川府花屋町

日口製油所

仁 力武物産株式會社 川府花町

在 川 工 場 油 鉄

/海事出張所

翌 石黑佛弄

日本製粉株式會社 場

光町

野精米所

電話五六二四

青五・六兩日京電支店裏球場で

基礎 水原運動俱樂部 後援 京城日報水原支局

吉田秀次郎

狀症るす

食あたり 腐の調整選化が何より必須 下痢の豫防には、前以つて仁丹で胃水あたり これから多い、金べ飲みからの腹痛

つ たる口薫こそ、これからの身嗜みひ、人を顰蹙させます、仁丹の蔥郁の 口の枯つき、口渇は液しい口臭を伴

消解

手離せません 変れ易く倦み易いこれから、仁丹は 変れ易く倦み易いこれから、仁丹は 過勢には勿論、倦怠にも、仁丹の即

ぐ直

仁丹で救急が一番安全な方法---と來る危いめまひには、絕對に--と來る危いめまひには、絕對に

で丹仁

頭

して置くことが何より適切なお手賞危險です、直ぐ仁丹でクロリと解消これからの頭痛は一層不愉快、且つ

十九官九萬一第

炎天下、然らざれば

泥濘膝を没する戦地

慰問袋には勿論のこと、普通の慰問の手紙にも、

苦闘の將士の士氣を更に振起して下さい

必らず

仁丹一袋は同封、

コンラ温

和の常舗

光門人は 感 0

跳梁

仁丹を常用して居れば、

消化器を護ると共に、これ等病菌に對して

切寄りつきません

赤痢、

疫痢等の恐そろしい傳染病の跳梁季ですが、

まづ消化

仁丹を常用すれば、 ますから、 して疲勞感は嵩り、種々の病ひを惹きお勞素の産出が多くて排泄がこれに伴はな運動量が多ければ、それだけ疲勞素も相 渡勞威や倦怠もなく、常にすれば、腎臓への疲勞素地 L元氣で、鷹の健康色に輝やき殊池に、血液の循環を旺んにし

起す基ごなりますない場合に、疲勞素は体内に蓄積相對的に多く産出されますが、疲

必須の抵抗力を増大しますから傳染病に罹る危惧がありません

組核病の 北江河 擡頭 \emptyset 要です これから、 器さへ健全であれば、これ等の病魔は

して、食慾を増し、生活機仁丹を欠かさず常用して、 **豊富な戸外の紫外線の必要は勿論のこ**と 生活機能を旺盛にすることが何より肝心して、榮養を充分にし、胃膓を丈夫に

今が、体内に潜在する結核病の一番極層 吸し易い頃です。 適度の運動で、

消化と 毒消し 口薫の

まづ、仁丹をのんて 殺菌力を旺盛に 胃腸を丈夫にし 抵抗力を强めて 最大急務です することが

> 社會式採丹仁下森 結本

敵弾の一つや一つ きにない

豪勇猛將の群像

不である。前の敵は手榴弾をず

「阿縁長の話「上野は沈着な

上野 伍長

著武者である「俺は劣長より」 主佐石岡都の人、脈脈と沈蒼 片岡 大尉 こン、ドカンと本る、臨済十五

2家山の際地た、町の砂坪が

富田伍長鴉

くの虫を起した中尉は唯一人間 の中に足音をしのばせ離の後に

和諸部原長が既に入れても確と

大岩 伍長

見し高松宮家

農村功績者御喪彰

『本建築』『でごる

めてふる尹歌榮氏は國民精神

| 腕盤の大前腕精に飛走し、 両氏の で設先きに参加老位に続うち各種

有力者。同胞から摩い信認

七十五年の鮮服 かなぐり捨てた

(朝鮮聯盟特成の知遇が起る一部力は眺ひられ、いよく)楽る七一

人組を浴びて罪々しく公職される

門花柳 震美皿女児の初端部員

入滅盗装を解く唱もなく廿三日 全球中衣の 勇士を 慰問得意の 型球中衣の 勇士を 慰問得意の 「慰後獅子」とこれも

さて今階『見果てれ当祭』の女

日本舞踊の環境料構で舞台を積

愈よ今夜府民館

で

幕

防共の實を結ぶ

夫婦共稼ぎの裕福ぶり

| 狀況に感じて二週間乃至一筒月間 ので、その期間は各部番の機械

今年内に一千二百餘箇所を

飛ば一萬五千百五十四名に達

期間のものであるが、現在収

見所を増設



第一級指導者として元気よくスタ ートを切つた

半島に起ち上つた尹氏は七

醉つ拂ひ失策 井三早

燥寸の代リに燧石

競作の起つた るナ解緩を痛疼

本会に新洋行

国直特的并出身發表

花柳病專門 排灰にきる文

泉目祭內

大きょう十九龍東で観点作は美本人本 京城海本町二フルニ 京城海本町二フルニ 京城海本町二フルニ

女事 ははタイピストに翻

美 心ひません? になりたいと V D 肌

惱みはわけなく消えますよシミ・あぶら顔・小ジワの色黑。ニキビ・ソバカス

全中 地質解析 本人

市場市場 地 京城で成場では、
では、
には、
では、
には、
では、
には、
では、
には、
では、
には、
には、

Tile Sir

+

地加级的

の一十年に立た。 は一年では、 は一は、 は一

中親か大概で御愛用下さい。 に召したら小瓶で一ト月紋けてごら んなさい。それで効力が見えたら、 先が見本で本試しになつて、4気

・17年第十八章ョリニナ市 希別月結ルト団以上三十市 地 町 入 川

李華

「大学」

「一学」

「一学」

はあ、ぐらん

女子事「員採用女子事」「員採用

總督官邸の晩餐宴

ホテルで入城が一夜のぬを結んだ 九時過音整合性に意識融合日伊理

歌迎の静に題へ、かくして同夜

嫌疑晴れる

豫軍司令官夫人。賀田朝鮮所職好 本府各局長、篠田幸王職長官、

伊經濟使節歡迎宴昨夜總督官即にて

,ましたものである。 愛図脳III

る位で南苑では友軍の寒頭を維

上野便長は釜山な民町一大釜山

てしまった『シメート

三村

軍曹

一十二日成北慶縣縣

夜に負続者の援助に努め目下原

第十七回館展は登開け以来 つぎは釜山 廿五日閉幕

大学 株 共日 スポイムーリク顔洗

朝鮮線 物味會社 解放人工表生 网络维尔伊里尔 电影 地名美国阿里尔 电多型 网络埃拉人工发生

刺た

3

第一書房

小林吳服店

養發號月七 餘五十二價定

真三千四百人を遊に突破す 人に選し昨年の購入場者!

ととなったが、関ラス場

る十二日と十六日の一

戦た毒仕院では全戦を

省へ送ることになった

一一、(イ)ひばり(ロ)な(焼)新日本音樂

晝の郡

八・110 (東) 小唄

勝 彬氏

電影時土 井上 築

化粧の秘訣

みにくいお肌の方はかうして ロイド硫黄の洗顔で美しく

作用に含は如何なる薬剤を

9 9

穆维汽鼎出牌资告

樂

[153]

くなった。感ぎにな

八・110 意話 八・00 京慶駅

八・○○(東)獨唱・合唱と八・○○(東) 獨唱・合唱と

町大・〇〇(座)ラデオ精頻

荒闘々ボチのお手柄々

日本の

再會するまで (学者) 金子たい

です。洗剤料は石鹼やコールドクリ

公正八朝宋施寶9 〇一門鮮航路 〇門新龍新 月三回

世界では、大田の分のでは、大田のからでは、大田ののからでは、大田ののからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のからでは、大田のののからでは、大田のののからでは、大田のののからでは、大田のののからでは、大田のののでは、大田のののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののではのでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののではの

(首) 新疆市日流山七月三日 (首) 新疆市日流山七月三日

の丸の旗に

朝の部

啓動員運動に関して 我村に〇一(繭)朝の修変 暦民耕

かれた感形像を述べる。

美しき人情

々は、難肌の美し

| 安川 九|| の北郷線に川コリ阪神直版|| 安川 九|| で 川 元||

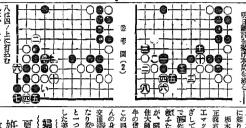
月台流南,迎自仁川吉官

ック四四所を助けれよけ間よの頭部に避けず

である 何等の獣作形なきが本

□紅、グリセリン四丁から、奇性カリー

の話、空場下の界域概を終て度か



夏季に於ける

婦人の時間 (後三時)

滑々とした色白顔

類の働数に非常

地在々所売専グッラド日有

に対していませる。 もの差がある。 もの差がある。 が一人ろくまく炎く

吹出物が殆ど止み

爽然と色白の艶肌

「一班に乗し宝」 のである(五十倍所) のである(五十倍所) ロエ・カー のである(五十倍所) ロエ・カー のである(五十倍所) ロエ・カー のである(五十倍所) く勿れ、百倍も

二百倍もの相楽 が 一部では、一般が加速で、しから有害 のので一般とない。これのが四条数で、 のので一般とない。これのは一般を のので一般とない。これら有害 のので一般とない。これら有害

害な内である

な意味がある所

● 安 丸 機型では 近世日 ● 安 丸 機型では、10円1日では、1

金剛山丸 操起云台 元曲三耳

の発行は、日本地で日本地で日本地で日本地では、 の発行は、100円にはは、100円には、100円には、100円には、100円にはは、100円には、100円には、100円には、100円には、100

り治風の目的を語

新元 中央 (中央) 1 年 (中央) 1

際に依るのであ

有影脈作曲の有